



MORIOKA YMCA NEWS

盛岡YMCAの使命

私たち、盛岡YMCAは、イエス・キリストによって示された生き方に学びつつ、豊かな自然と歴史的伝統に満ちた岩手の地で、子ども、家族、地域とともに公正で平和な世界の実現を目指します。

1. 子どもたちの個性を大切に、それぞれの夢や希望、生きる力を育みます。
2. 家族の絆といのちの大切さを深め合います。
3. 共に生きるために、異なった文化、多様な価値観と出会う場を提供します。

2017年5月号



発行人：濱塚有史 編集人：武田悠 発行所：特定非営利活動法人 盛岡YMCA 岩手県盛岡市本町通3-1-1
TEL 019 (623) 1575 e-mail: info@moriokaymca.org URL: <http://www.ymcajapan.org/morioka/>

「わいっ子」

鬼柳 琴（岩手看護短期大学3年・マックリーダー）

今までの人生で誇れることは何だろう？どの位あるだろう？今年21歳になるまだまだ未熟者の私ですが考えてみました。一生付き合おう友達ができただこと？はたまた…。いざ考えてみるとあまり思いつきませんでした。だけど即答できることがあります。それは、「わいっ子」ということです。「わいっ子」とは、「子どもの頃YMCAの活動に参加していた人」と勝手に定義付けさせていただきます。

私は小学2年生の時に盛岡YMCAと出会いました。きっかけは近所の友達がYMCAに行っていて誘われたからだったと思います。そして日常とかけ離れた環境で遊ぶ、優しくユーモラスなリーダーたちに会えるYMCAにどんどんはまって行きました。今ではたくさん活動に参加させてくれた両親にとっても感謝しています。

大好きなYMCAの活動の中でも特に思い出に残っているのが、りんご園に泊まるキャンプです。何をしたのだろう？と思うと思います。とても素晴らしい環境なんです！風を感じながら軽トラックの荷台に乗り、田んぼへ行きそこで泥だらけになりなが

ら遊んだり、平屋建ての家の窓からリーダーに手伝ってもらいながら屋根に上り星を見たり…。また、手作りの五右衛門風呂にキャッキヤ言いながら入ったこと、リーダーが火をおこして作った焼きリンゴが美味しかったなあ、ポットトイレは臭くて虫がいて嫌だったなあ、そんなことまで覚えています。リーダーになった今でも私は、満天の星空、土管風呂、焼きリンゴを見るとキャンプを思い出しますし、活動で、森の中の小道や小川へ行くと、子どもたち以上にどきどき、わくわくしているかもしれません。また、子どもの頃はよそへ出ると基本的にいい子ちゃんだった私が、リーダーの顔に油性ペンで落書きをしたり、スキーキャンプで友達になった子と「足が滑った」と言いながらリーダーにキックをちょっぴりかけたり、ありのまま、それ以上に子どもらしくいられたのがYMCAで、経験や感じたことは財産だと思っています。

私はよく他のリーダーたちに言われます。「マックはわいっ子なんだよね、いいなあ。」と。そんな時私は満面の笑みで誇らしげに「いいでしょ。」と答えています。

☆盛南センター開校☆

4月1日(土)。盛岡YMCAの新しい学童、「ぷらいむ・たいむ盛南校」が開校しました。その盛南センターのスタッフ、しどうリーダーからレポートが届いています☆



4月1日に盛岡YMCAとして4か所目となる学童保育「ぷらいむ・たいむ盛南校」が開校いたしました。現在、盛南校には本宮小学校から5名、向中野小学校から9名の計14名の子どもたちが通い、6名のスタッフと共に日々生活しています。初めて来た子どもたちはとても緊張した様子で、スタッフが声を掛けてもなかなか反応のない場面も見られましたが、時間が経つにつれ緊張も解け、たくさんの笑顔が見られるようになりました。春休み中は長時間の学童生活の中で、とても広くドッジボールやサッカーが出来るほどの室内での遊びを楽しんだり、おままごと用の手作りキッチンを使い、ごっこ遊びを行ったりと様々な遊びが展開されました。さらに、すぐ近くには今時珍しい砂場のある広い公園もあり、こちらでも滑り台やブランコ、砂場での泥遊びやパドミントンなど非常に多くの遊びが展開されています。このような一人ひとりが自分たちのやりたいことをノビノビと行える時間の中で、個々の楽しい時間と共に、同じ空間で生活をする仲間として、学年や学校、性別を気にせず、上の学年は下の学年を気にする姿や下の学年は上の学年を頼りにする姿などが見られるようになってきました。

取り組む子や直ぐにでも遊びに入りたい子など春休み中とはまた少し違う姿が見られてきています。そのような中でも、時には小さなケンカをしてみたり、かと思ったら次の瞬間には仲よく遊んでいたり、多くの関わり合いも見られ始めました。

ぷらいむ・たいむすべてに共通する、「子どもたちをただお預かりするのではなく、第二の家として子どもたちが安心して過ごすことの出来る空間」を子どもたちとスタッフが一緒になり少しずつではありますが、作ろうとするスタートラインに立ち始めています。4か所あるぷらいむ・たいむの中で1番人数が少ないからこそ作ることが出来る、一人ひとりの関係が近く、本当に温かな雰囲気の学童をこれから少しずつではありますが、作っていきたいと考えています。また、向中野校と連携をし、時には盛南校の子どもたちが向中野校に行き、同じ時間や場所を共有し生活することで、両校の子どもたちの出会いと気づきを多く提供することも考えており、これまではなかなか難しかった、スケールメリットをいかした関係づくりにもチャレンジをしていきます。

子どもたちにとって、「自分が自分でいいんだ」と思えるよう、盛岡YMCA全体で大切にしている「君でいいんだよ」を私たちスタッフ一人ひとりが胸に、子ども達と生活を共にする中で、ノビノビと温かな関係と空間を作っていきたいと思います。

盛南センター長 浅沼 慧 (しどうリーダー)



← 近くの公園の遊具でパシヤリ☆

砂遊びでの一枚!何やらあししい顔が...←

ひろ〜い室内ではドッジボールが白熱中...←

外でも、中でもパドミントンに夢中ですよ☆←

2人の女の子たちが描いた何やら不思議な絵...←

🎿 スプリングスキーキャンプ 🎿



皆さんこんにちは!久しぶりの登場!ダイラーです!

今回は、3月29日から31日の3日間行われたスプリングスキーキャンプについてのレポートです!

子ども13人とリーダー5人の総勢18人で行われたスプリングスキーキャンプ。人数は少なかったですが、その分一人一人が濃密に関われたとてもアットホームなキャンプになりました。

今回のスプリングスキーキャンプでは、スプリングスキーキャンプ初のワッペンテストが行われました。子どもたちもワッペンテストに向けて、リーダーの話にきちんと耳を傾け、熱心にレッスンに励んでいました。上手く曲がる事が出来なかったグループの子たちも、最終日にはハの字でキレイに滑ることができ、中級者グループは二の字で大回り・小回りができるようになり、スキーがとっても上手になりました。また、他のグループがリフトに乗っているときは、大きな声で声を掛け合ったり、ゲレンデで

遭遇したときはお互いに挨拶を交わし合ったり、グループごとの関わりも日が経つにつれて、どんどん多くなっていきました。

スキー以外の時間は勿論みんなで遊びます!男子チームと女子チームに分かれてのスゴロク対決や、グループごちゃまぜになって行われたミニゲーム大会など、数々の白熱したゲームが行われました。色んなゲームをするうちに、子どもたち同士、リーダーと子どもたちの仲がどんどんと深まっていき、年齢や性別、グループの壁を越えて共に遊び、喜びを分かち合うことができたと思います。

キャンプが楽しいのは、誰か一人が頑張っているからではありません。スキーを一緒に滑ってくれる友達、一緒にお風呂に入ったり、食事をしたり、寝たりする友達がいるからこそです。友達がいるとつらいことも乗り越えられる気がします。友達といつともより余計に楽しく感じちゃいます。そんな素敵なお友達が17人も増えたとっても楽しいキャンプになりました。またキャンプで会いましょう!

岩手県立大学2年 松平 大知 (ダイラーリーダー)



久しぶりのスキーにワクワク☆←

ナイトプログラムでの一枚。男子チームの気合は十分です!←

待ちに待ったスキーレッスン☆叫びながらゲレンデを滑ります!←

お部屋では変身ポーズを決めています☆←

滑っている途中で虹が見え、とてもハッピー!☆春ならではのスキーを楽しみました☆←

盛岡YMCA宮古ボランティアセンター 4月報告書

今年度も4月11日から宮古サッカースクールが始まりました！今年度の1回目は残念ながら雨でしたが、サッカー大好き！元気いっぱいの子どもたちは雨の中でも！昨年度はチャンピオンズカップ、お泊まり会とサッカースクールとして様々なことにチャレンジしました！今年度も新たな仲間たちとともに楽しくサッカーしていきたいと思えます！

サッカーだけでなく、人の話をしっかり聞いたり、荷物の準備や片付けをしっかりと！楽しい時間は自分たちで作っていく！そんな宮古サッカースクールをよろしく願っています！

宮古サッカースクールスタッフ 向平悟（さとちゃんリーダー）



今年度2回目のサッカースクールでは、ぼかぼかの晴天でした！

宮古サッカースクールには女の子もたくさんいます☆「私たちがガールズと呼んで頂戴！」と元気に楽しみました☆



盛岡Yリーダー横浜へ…

3月26日（日）～30日（木）に長野の梅池高原で行われた横浜YMCAのスキーキャンプに、盛岡YMCAのショッカーリーダー、さそりリーダー、チーズリーダーが参加しました。3人からそのキャンプのレポートが届いています☆



こんにちは！ショッカーです。今回、3月26日から30日に行われた横浜YMCAのスキーキャンプに参加させていただきました。私は、ジュニアスキーキャンプの方に参加させていただき、1年生から6年生の子ども達とキャンプをしてきました。

最初は4泊5日のキャンプは長いなあと感じていましたが、キャンプが始まるとあっという間に時間がすぎ、すぐ終わってしまったように感じました。また5日間のキャンプで、リーダーと子ども、子ども同士の関係性もより深まり、日を重ねるごとに関係性が変化していくのを感じることができました。お互いに注意し合う姿や、助け合う姿、全力で遊ぶ姿が増えていき嬉しかったです。

また今回横浜YMCAのキャンプに参加させていただき、一期一会を大切にしていきたいと感じました。新年度も始まり、新たな出会いがたくさんあります。一回一回を大切にしていきたいです。またこれまで関わってきた人との関わりをさらに大切に今後活動に取り組んでいきたいです。

最後に、今回キャンプに参加するにあたり、たくさんの方々に支えていただきました。ありがとうございました。

岩手県立大学3年 伊藤 陸（ショッカーリーダー）



3月26日から30日までの4泊5日、横浜YMCA主催の梅池ユースキャンプに参加させていただきました。初めましてのリーダー、メンバー、スキー場でのキャンプ、さらに4泊5日は経験したことのない長さだったので、参加するまでは不安が沢山ありました。23日に横浜入りし、ミーティングや準備をし、徐々にキャンプに対してドキドキワクワク楽しみな気持ちが増していきました。キャンプでは、小学校6年生から高校3年生までのメンバーが参加していて、メンバー同士も仲が良く、リーダーともす

ぐに打ち解けられるフレンドリーな子たちばかりでした。スキーレッスンも広いゲレンデで楽しく滑りました。今回のキャンプは1日の中で、スキーレッスン、プログラム以外にフリーな時間が多く、また食事の際の席順決めゲーム等もメンバーが考えて実施するため、一人一人がキャンプを創り上げているという印象が強かったです。テーマソングは「やってみよう！」いつでもどこでも、迷ったり戸惑ったりしたら、「やってみよう！」という声飛び交っていました。本当に充実した楽しい5日間でした。

岩手大学3年 菊池 望（さそりリーダー）



私は3月26日～30日の間、長野県にある梅池高原スキー場にて横浜YMCAのユーススキーキャンプに行ってきました。小学6年生から高校3年生までのメンバーで過ごしました。みんなでご飯を食べて、スキーをしたりキャンプソングを歌ったりと毎日が騒がしく楽しいものでした。今回ユースを対象とするキャンプは初めてでどんなキャンプになるんだろうとワクワクしていました。初日から元気いっぱいの子どもたち。「岩手からきたの？」「岩手弁教えて！」とあちらこちらから質問してきてくれました。ナイトプログラムでは劇のスタンプをやりました。私たちのグループのメンバーは劇を東北訛りでしてくれるほど、訛りを気に入ってくれました。このキャンプの最終日の夜は、高校3年生を送り出す卒業式のようなものを行いました。高3生は、YMCAが大好きで、次はリーダーとして戻ってきたい！と一人ひとりがしっかりと話ししてくれました。ユースのキャンプは、リーダーだけではなく子どもたちが主体となり、キャンプが出来上がっていくんだと感じ、負けられない気持ちになりました。今回ここで感じたことを少しでも盛岡YMCAで活かせたらと思います。ここでの出逢いに感謝でいっぱいです。ありがとうございました！

盛岡大学3年 小野寺保乃香（チーズリーダー）

☆リーダー紹介コーナー☆

みなさんこんにちは！マックスこと東彩由海です！この春から岩手大学教育学部新2年生になります。私は色々な活動に参加しているので、みかけたらたくさん声をかけてくださいね！新2年生として今年度もさらに頑張っていきますのでよろしくお願い致します！さて、今回私が紹介するのはみんなリーダーです！みんなリーダーは岩手県立大学ソフトウェア情報学部新2年生で本名を岡田稜平と言います。栃木出身のみんなリーダーの名前の由来は栃木の餃子屋さんのみんな餃子です！時々栃木のなまりが出るので聞いてみてください。みんなリーダーはキャンプ、アドベンチャークラブ、サンデースクール、水泳教室、宮古サッカースクールなど様々な活動に参加しています。スポーツが大好きで特に水泳と野球が得意なので何でも聞いてみてください！私は活動でみんなリーダーと同じグループになることが多いのですが、みんなリーダーは子どもたちと関わる距離がとても近

く、すぐに仲良くなります。そしてメリハリを持って子どもたちと接して、楽しむ場面とルールを守らなければいけない場面の切り替えをしっかりしています。遊びのプログラムを考えるのも一生懸命と一緒に遊ぶととても楽しいです！子どもたちから笑いをとるためなら何でもやりますよ～。また、みんなリーダーは変顔が得意で、中でもおでこのシワを使った顔芸は大爆笑間違いなし！頼めば見せてくれます。ぜひご覧あれ！彼の面白さは底無しです。私も最近ではみんなリーダーが笑いのツボです。仲良くなって面白さを引き出してみてくださいね！新2年生になってますますパワーアップするみんなリーダーのこれからの活躍に期待しましょう！では、以上マックスでした！

みんなリーダーのお茶目な笑顔☆



4月の予定

- ★5月2日 (水・祝)
水曜水泳教室休講
盛南スクール休講
- ★5月4日 (木・祝)
向中野スクール休講
高松スクール休講
- ★5月5日 (金・祝)
金曜水泳教室休講
篠木スクール休講
盛北スクール休講
- ★5月7日 (日)
4月アドベンチャー振替日
～電車で行く♪いわて花巻空港探検～
(場所:花巻空港)
- ★5月16日 (火)
火曜水泳教室休講
- ★5月21日 (日)
5月サンデースクール
～オリジナルクッキーメロンパンを作ろう～
(場所:仙北地区活動センター)
- ★5月28日 (日)
5月アドベンチャー
～レッツアウトドアクッキングト～
(場所:外山森林公園)
- ★5月30日 (火)
火曜水泳教室休講



君でいいんだよ ～JUST THE WAY “YOU” ARE③～

『トマトでいいんだもん!』



ビニールハウスの中で、トマトの赤ちゃんたちが話をしています。
「僕は大きくなったら一流のイタリアン・レストランで世界一のトマトソースになるんだ!」「私は、新鮮な野菜のお友達と一緒にヘルシーなサラダに

なるの!」
夢をいっぱい持った赤ちゃんたちは、どこに出されても恥ずかしくない立派で真っ赤なトマトに育っていきました。

そんなある日、南の国で大きな地震が発生しました。家が倒れたり、崩れたりして、たくさんのひとたちの住むところがなくなりました。そして、避難所と呼ばれる体育館には600人を超える人たちが寝泊まりするようになっていました。

トマトたちは、3つの箱に入れられて小さな車の荷台に乗って避難所へ向かっています。当初の夢とはことなるものの、みんなの役に立つことができればとトマトたちの心は希望でいっぱいです。
車の中には、トマトたちの他にもいろいろなものがありました。「僕が行けば、電気のないところでも、へっちゃらさ!」電池不要のソーラーランタンくんが言いました。「私の薫りは、避難所の人たちの心を和ませることができると思うわ」コーヒーさんが言いました。
「どうしよう!日が経つと僕たちシワシワになっちゃうよ。」「六百人なんて、わたしたちではとても足りない

わ」真っ赤なトマトたちは、不安と申し訳なさで少し、青くなったように見えました。

長い時間をかけて、車は南の国に到着しました。ソーラーランタンは、電気の届いていない3箇所の避難所に運ばれ、暗闇を照らす希望のともし火になりました。ドリップコーヒーの素敵な薫りは、避難所の多くの人たちのこころを癒しました。

さて、真っ赤なトマトたちはどうなったのでしょうか?大丈夫!! トマトたちは、細かく刻んでもらい、何時間もグツグツ煮こんでもらって美味しい、美味しいカレーになっていました。トマトの形は見えなくなっても、600人以上の人たちのお腹と心を満たすことができました。

※昨年4月16日に発生した熊本地震。横浜YMCAから熊本YMCAが運営する益城町の避難所に物資が運ばれた時のエピソードです。

「そこで、イエスは地面に座るように群衆に命じ、七つのパンと魚を取り、感謝の祈りを唱えてこれを裂き、弟子たちにお渡しになった。弟子たちは群衆に配った、人々は皆、食べて満腹した。残ったパンの屑を集めると、七つの籠いっぱいになった。食べた人は、女と子供を別にして、男が四千人であった。」

(新共同訳聖書 マタイによる福音書15章:35-38)

盛岡YMCA総主事 濱塚有史

表紙の写真から



3月29日(水)～31日(金)に行われたスプリングスキーキャンプの様子です。スキーが久しぶりの子、スキーが2回目の子、幼児の子まで…。素敵な笑顔で春スキーを満喫しました☆

たくさんの新リーダー



4月16日(日)に盛岡YMCAリーダーの新入生歓迎会が行われました。内丸教会をお借りして、約70名の新入生が集まりました☆

ショッカーもフィリピンで考えた。②

ショッカーリーダーのフィリピンコラムが2回目となりました!今回はどのようなエピソードでしょうか…?



ワークキャンプ3日目。私たちは、イロイロYMCA主催のユースフォーラムに参加した。このユースフォーラムとは中高生を対象に愛とは何か、結婚とは何かについて考える為に行われたもので、50人近くの中学生と高校生が集まった。

現在フィリピンでは12歳から15歳の若者の妊娠や、HIVの感染が社会問題となっている。フィリピンでは結婚は親の同意なしでは、21歳から中学生が妊娠し出産した場合はシングルマザーとなってしまう。そのため子育ての負担は大きく経済的にも生活が苦しくなってしまうという現状がある。このような問題がある中、学校では性に関する教育などは行われていないという。そのため、これらの社会背景から、イロイロYMCAが問題解決の為にユースフォーラムを開いた。本当の愛とは何か、正しい関係

性などについて、パワーポイントのスライドや映像を見ながら話を受けた。私は、現在フィリピンでは若者の間でこのような問題があることを知り驚いた。また、それ以上にユースフォーラムに参加して、中学生の時から性に関する問題に真剣に取り組んでいることに驚いた。社会問題となっているから、このようフォーラムは必要であるとするが、12歳から14歳という若い年齢からこのような問題に取り組んでいるのはすごいことだと感じた。

ユースフォーラムのある言葉で、「結婚は信頼の上に、信頼は真実の上に」というものがあつた。この言葉は、ユースフォーラムの愛とは何か、結婚とは何かをまとめた言葉ではないかと思う。はっきりせず曖昧な関係のせいで問題は起きている。関係性をよくさせることが重要だと強調されていたが、そのためには、お互い嘘をつかず信頼しあえることが必要なのではないかと感じた。

イロイロYMCAでは、今後もドラッグや性に関する問題に取り組んでいくという。その際今回ワークで修復したキャンプ場を使うそう。若者のため、社会問題解決のため地域に根付き活動を行っていくことはとても素晴らしいことだと感じた。

岩手県立大学3年 伊藤 陸(ショッカーリーダー)

感謝

(2017年度3月24日現在) 五十盾順・敬称略

●維持会費

- 秋永光里、浅沼慧、有我啓作、飯島隆輔、家村知佳、池田二郎、石崎眞珠、石崎隆司、戸貞文、伊藤克寛、伊藤真一郎、伊藤真太郎、伊藤愛美、伊藤みどり、井上浩太郎、井上優子、三井桂子、松本至、上中優奈、魚住英昭、鶴丹谷三千代、江宏泰、遠藤誠、遠藤昌樹、及川茂夫、及川忠人、大澤未来、大開晴一、小笠原真紀子、岡田忠治、尾形裕一郎、小川明佑、小川嘉文、小澤聡、レナード、押切椋、小畑孝子、重石桂子、小山憲彦、角谷晋次、川坂保宏、神田橋三、菊地弘生、北田アユ子、君塚彩、工藤あさひ、工藤直子、工藤泰、熊谷圭祐、熊谷英希、熊谷力實、小林茂元、小守林博一、小野香代子、合野聖子、今野健男、齋藤之彦、齋藤恒夫、佐藤翔、清水弘一、清水治彦、菅原省司、村田弘美、高瀬裕彦、高橋奈菜、滝川佐波子、立花辰、田村治之、とぎY.M.C.A. 理事長、鷹野孝、長岡和義、長岡正徳、中島敬泰、中原眞澄、中村圭一、名古屋恒彦、南原良哉、日本基督教団 宮古教会、花田晴、濱塚真実、濱塚秋二、濱塚直樹、濱塚敦人、濱塚真実、濱塚有史、濱塚有子、早坂春希、林辰也、原寛、東森聡、人見晃弘、廣川厚子、廣川健太郎、廣川はるな、深澤多紀子、深澤勇男、藤野陽平、古澤伸、松尾聡子、増田隆、水田賢次、水野暢夫、光永尚生、宮崎幸雄、守下昌隆、守下昌輝、森山日菜乃、森山幹大、山口貴伸

●寄付金

- 池田二郎、伊藤克寛、伊藤真一郎、伊藤みどり、今松桂子、鶴丹谷千代、遠藤隆樹、及川茂夫、大澤未来、大開晴二、岡田虎治、角谷晋次、北田アユ子、熊谷圭祐、熊谷紗希、熊谷力實、野野代子、佐藤翔、高瀬裕彦、中原眞澄、長岡和義、名古屋恒彦、南原良哉、早坂春希、花田晴、濱塚秋二、濱塚直樹、濱塚敦人、濱塚真実、濱塚有史、濱塚有子、早坂春希、古屋恒彦、増田隆、松尾聡子、吉田航平、吉田美波

●東日本大震災被災地支援募金 献品

- 3・11チャリティコンサート実行委員会、飯島隆輔、大阪YMCA、大阪YMCA サンホーム、社会福祉法人イエス団 友愛幼児園、私立榎木小学校、馬場一郎、日本基督教団城西教会、ワイズメンスクラブ西日本

●熊本地震・YMCA救援・復興募金

- 家村知佳、石崎眞珠、伊藤真一郎、伊藤真太郎、小畑孝子、北田アユ子、君塚彩、熊谷英希、熊谷力實、野野代子、野野瑞紗、清水弘一、菅原也、名古屋恒彦、増田隆、松尾聡子、吉田航平、吉田美波

●熊本地震被災YMCA支援募金

- 浅沼慧、浅沼美希、家村知佳、石崎眞珠、伊藤真一郎、伊藤愛美、井上修三、岩井和己、鶴丹谷三千代、遠藤昌樹、大開晴二、小笠原真紀子、尾形裕一郎、小川明佑、小川嘉文、角谷晋次、菊地弘生、工藤泰、佐々木千賀子、高橋亜也子、滝川佐波子、立花辰、日本基督教団内丸教会、日本基督教団宮古教会、濱塚真実、濱塚有史、早坂春希、女鹿乃々華、盛岡YMCAリーダー会、もりおワイズメンズクラブ、四元尚志、吉田琥太郎

●国際協力募金

- 浅沼慧、浅沼美希、阿部未来、家村知佳、石崎眞珠、伊藤克寛、伊藤真太郎、岩城悠、上中優奈、遠藤隆樹、遠藤真希、大崎蒼太、小笠原真紀子、尾形裕一郎、小川明佑、小川嘉文、工藤泰、尾形裕一郎、伊藤克寛、伊藤真太郎、伊藤愛美、伊藤みどり、井上浩太郎、井上優子、三井桂子、松本至、上中優奈、魚住英昭、鶴丹谷三千代、江宏泰、遠藤誠、遠藤昌樹、及川茂夫、及川忠人、大澤未来、大開晴一、小笠原真紀子、岡田忠治、尾形裕一郎、小川明佑、小川嘉文、小澤聡、レナード、押切椋、小畑孝子、重石桂子、小山憲彦、角谷晋次、川坂保宏、神田橋三、菊地弘生、北田アユ子、君塚彩、工藤あさひ、工藤直子、工藤泰、熊谷圭祐、熊谷英希、熊谷力實、小林茂元、小守林博一、小野香代子、合野聖子、今野健男、齋藤之彦、齋藤恒夫、佐藤翔、清水弘一、清水治彦、菅原省司、村田弘美、高瀬裕彦、高橋奈菜、滝川佐波子、立花辰、田村治之、とぎY.M.C.A. 理事長、鷹野孝、長岡和義、長岡正徳、中島敬泰、中原眞澄、中村圭一、名古屋恒彦、南原良哉、日本基督教団 宮古教会、花田晴、濱塚真実、濱塚秋二、濱塚直樹、濱塚敦人、濱塚真実、濱塚有史、濱塚有子、早坂春希、林辰也、原寛、東森聡、人見晃弘、廣川厚子、廣川健太郎、廣川はるな、深澤多紀子、深澤勇男、藤野陽平、古澤伸、松尾聡子、増田隆、水田賢次、水野暢夫、光永尚生、宮崎幸雄、守下昌隆、守下昌輝、森山日菜乃、森山幹大、山口貴伸

●国際協力募金

- 早坂優希、東森聡、フジグリーン岩手株式会社、松井美樹、守下昌輝、山崎詩織